

## ～水生生物調査結果の取りまとめ・報告の留意点～

水生生物調査が終わったら、調査結果を「全国水生生物調査結果 集計用紙(様式2)」により取りまとめて報告します。その際は、次の1～7の事項について留意願います。

### 1 調査結果の報告について【報告締切:令和8年10月30日まで】

調査申込み時に選択した方法により報告します。

(1)「インターネットにより登録する」とした団体

環境省の「全国水生生物調査のページ」の調査結果登録画面に、通知を受けたID・パスワードでログインして、結果を入力します。

(2)「調査用紙(紙)で提出する」とした団体

市町村の水生生物調査担当課に提出します。

提出内容は、次の①②(あれば③)です。

①「全国水生生物調査結果 集計用紙(様式2)」

② 調査地点を示した地図(手書きの地図ではなく調査地点が特定できるもの)

③ マップ等に掲載可能な写真

### 2 指標生物について

次の指標生物は汽水域(海水が混ざっている場所)のみに生息する生物です。

No.11イシマキガイ No.18ヤマトシジミ No.19イソコツブムシ類

No.21ニホンドロソコエビ

調査地点が淡水域の場合、調査結果のこれら指標生物の欄に○または●印を記入することにはなりませんので、ご注意ください。

(イソコツブムシには湧水に生息する種がありますが、本調査では汽水性のみを調査対象とします。淡水河川または湧水で見つかった場合は、調査結果に含めないで下さい。)

※ テキスト、または全国水生生物調査のページ

<https://water-pub.env.go.jp/water-pub/mizu-site/mizu/suisei/>

指標生物調査図鑑を参照ください。

### 3 岩手の水生動物図鑑について

各振興局において岩手の水生動物図鑑の貸出しをしておりますが、本図鑑は水生生物調査の指導者用の参考資料として作成したものです。水生生物を見分ける際の手助けとして活用できますが、全国水生生物調査における水質判定にあたっては、集計用紙(様式2)に記載の指標生物の水質階級判定手順により水質階級を判定してください。

#### 4 調査結果(指標生物)の記入の仕方について

調査地点で見つかった指標生物について、まず集計用紙の指標生物のそれぞれの欄に○印で記入し、次に、これら○印をつけたもののうち、見つかった数が多かった上位から2種類(最大3種類)を●印に塗りつぶします。

水質階級ⅠからⅣまでで○印をつけた全てのうち上位2種類(最大3種類)に●印をすめるものであることにご注意ください。(●印は最大でも3個となります。)

※ テキストの記入例を参照ください。

#### 5 調査地点地図について

調査結果を提出する際には、調査地点を図示した地図を添付してください。

添付する地図は、住宅地図を利用する(手書きの地図は不可)など、調査地点の場所が特定しやすいようできる限り詳しい地図を添付いただきますようお願いいたします。

#### 6 調査団体名の記入について

調査団体情報記入表(様式1)と全国水生生物調査結果集計用紙(様式2)とで、「調査団体名」が異なることがないよう、どちらにも同じ名称を記載してください。

#### 7 写真の提供について

全国水生生物調査結果集計用紙(様式2)に添付いただいた写真は、後に岩手県が作成する「水生生物を指標とした岩手県の河川水質マップ」等に掲載される場合があります。御協力いただける団体は、写真の提供をお願いします。